

「文化人類学」

Cultural anthropology



作成日：2015.7.31

キーワード

人類学 社会人類学 民族学 民族 文化 異文化
民族誌 民俗学 エスニシティ 多様性（ダイバーシティ）

>>> 入門的な情報源 <<<

そもそも「文化人類学」とはどのようなことなのか、おさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『大辞泉 第2版』小学館 2012	R813.1/D/せ-ん	本館
『世界大百科事典』平凡社 2007	R031/S/25	本館
『文化人類学がわかる事典 読みこなし使いこなし活用自在』 日本実業出版社 1996	R389/K	本館

「閲覧ビジュアルⅡ」の「知蔵」も利用できます。（インターネット・学内のみ）

>>> 図書を探す <<<

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

163	宗教人類学・神話学	316	国家と個人・民族・人種差別
361	社会学	362	社会史・社会体制
382	民族誌・民俗誌	383	衣食住の習俗
384	社会・家庭生活の習俗	385	通過儀礼・冠婚葬祭
386	祭礼・民俗芸能	387	民間信仰
388	民話	389	民族学・文化人類学
490.15	生命倫理	495.48	生殖医療
469	文化人類学・民族学	801	言語学・言語社会学

■OPACで探す

→「書名」に“文化人類学”と入れてみる。「内容細目」にチェックが入っていると、書名に“文化人類学”の語句がなくても件名などから見つかることがあります。

→配架場所が研究室の場合は、その先生の研究室に伺ってお願いしましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

内容	資料情報	請求記号	配架場所
文化人類学とは	『よくわかる文化人類学』綾部恒雄、桑山敬己/編 ミネルヴァ書房 2010	389/A	本館
	『人類学のコモンセンス 文化人類学入門』浜本満、 浜本まり子/編 学術図書出版社 1994	389/H	本館
研究の方法 調査の心得	『エスノグラフィー入門「現場」を質的研究する』 小田博志 春秋社 2010	361.9/O	本館
	『フィールドワークの技法 問いを育てる、仮説をきたえる』佐藤郁哉 新曜社 2002	361.9/S	本館
	『調査されるという迷惑 フィールドに出る前に読んでおく本』宮本常一・安溪遊地 みずのわ出版 2008	389/M	本館

異文化の表象 異文化間コミュニ ケーション	『異文化理解』青木保 岩波書店 2001	B361.5/A	本館・新書
	『異文化理解入門：グローバルな時代を生きるための』 原沢伊都夫 研究社 2013	361.45/H	
	『多文化社会と異文化コミュニケーション』 伊佐雅子/監修 三修社 2007	361.45/I	本館
民族誌	『遊牧の世界』松原正毅 平凡社 2004	B382.274/M	本館・文庫
生命観 人生儀礼 生殖補助医療	『出産の民俗学・文化人類学』安井眞奈美/編 勉誠出版 2014	385.2/Y	本館
	『世界の出産 儀礼から先端医療まで』松岡悦子、小浜 正子 勉誠出版 2011	385.2/M	本館
ダイバーシティ 異文化間理解と ケアの現場	『知っておきたい国際看護を学ぶための異文化理解とヘル スケア』スー・チュラーリほか 日本放射線技師会出版 会 2008	N090/S	本館
	『異文化間介護と多文化共生 誰が介護を担うのか』 川村千鶴子、宣元錫/編著 明石書店 2007	369.26/K	分館
日本の民俗学	『宮本常一写真・日記集成』(上・下・別巻) 毎日新聞社/編 2005	382.1/M/ 上・下・別巻	本館
	『アイヌ学入門』瀬川拓郎 講談社 2015	B211/S	本館・新書

本学にはない図書も探してみましょう。

- NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。
- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 「大学図書館の本をさがす」のところで日本の大学図書館の蔵書から検索でき、所蔵館が表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

>>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。文化人類学に関する雑誌は残念ながら本学には少ないので、データベースを活用しましょう。

■実際の雑誌から関連記事を探す

【図書館で所蔵している雑誌】

資料情報	所蔵年	配架場所	Web 目次
『異文化間教育』アカデミア出版会/年2回	2010-現在	分館	○全号
『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』 北海道立アイヌ民族文化研究センター/年刊	2001-現在	本館 司書室	○全号 一部全文公開

※“Web 目次”欄の記述は、発行元サイトなどから目次情報が見られる範囲です。

《上記以外の雑誌で特集記事に「人類学」が取り上げられたものの例》

雑誌名	特集記事	巻号、発行年	配架場所
『保健の科学』	保健と医療の人類学	49(5), 2007	本館
『メディカル・ヒューマニティ』	国際医療協力と文化人類学	22, 1993	本館司書室
『看護研究』	文化人類学的研究方法	23(2), 1990	本館
『Vesta 食文化のひろば』	スープの世界—わが家の味・民族の知恵	61, 2006	分館司書室

■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。
→「文化人類学」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

観光消費への文化人類学的アプローチ：北海道の中国人観光における「made in Japan」の消費を中心に（特集 文化資源としての民俗文化）

周 菲菲 比較民俗研究(28), 111-126, 2013

機関リポジトリ

このように、「CiNii-PDF」「機関リポジトリ」「CiNii-Link1」というマークがついていれば、全文を読むことができます。（有料のため見られないという例外もあります）

「CiNii-PDF 定額アクセス可能」の場合は、学内であれば、閲覧が可能です。

*上記のようなマークが無い場合～論文詳細画面の [CiNii Books](#) のアイコンをクリックすると掲載雑誌の所蔵館が表示され、本学にある場合は「名寄市立大学図書館」が一番上にきます。その際、所蔵範囲を確認しましょう。

>>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門誌は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲	配架場所
朝日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	本館
毎日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	本館
北海道新聞	一般紙（ブロック紙）	過去1年程度	本館
読売新聞	一般紙	過去1年程度	分館
産経新聞	一般紙	過去3ヶ月程度	分館
日本経済新聞	専門紙	過去3ヶ月程度	本館

*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。

（1948.1-2004.12 は分館書庫、2005.1-2011.3 は本館）

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」（学内のみ）～キーワード・日付などから検索できます。

→「文化人類学」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。（一例）

先住民族、映画で考えよう アイヌ民族の学生ら、上映会計画/北海道
2015年2月25日 朝刊 北海道総合 32ページ

>>> 視聴覚資料を探す <<<

文化人類学に関連のある視聴覚資料には次のものがあります。館外貸し出しができます。

資料情報	請求記号	時間
『新世界紀行』第1巻～第42巻(VHS) パックインビデオ	V2-119～160	各巻47分程度
『パンの民族誌 アルプスの村の復活祭』 『パンの民族誌 パンを焼くアルプスの村へ』(VHS) 舟田詠子 NHK テクニカルサービス	V2-166, 167	30分, 40分

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、統計や専門事典などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『文化人類学事典』弘文堂 1994 《専門事典》	R389.033/B	本館
『世界のマイノリティ事典』明石書店 1996 《専門事典》	R316.8/M	本館
『世界民族言語地図』東洋書林 2003 《地図・図録》	R803.8/S	本館・大型本
『民族大地図』小学館 1983 《地図》	R031/S/別巻 6	本館・大型本
『世界の統計』総務省統計局 毎年発行 →国際社会の実情に関する様々な統計データが載っています。Web 上でも公開されています。 http://www.stat.go.jp/data/sekai/index.htm 《統計》	R350.9/S	本館

>>> 文化人類学の世界を更に訪ねよう <<<

文化人類学の古典・名著と呼ばれるものがあります。本学にあるものを紹介します。

資料情報	請求記号	配架場所
『古代社会』L.H.モルガン/著 荒畑寒村/訳 角川書店 1971	B362/M	本館・文庫
『初版 金枝篇』J.D.フレイザー/著 吉川信/訳 筑摩書房 2003	B163/F/上 B163/F/下	本館・文庫
『通過儀礼：門扉としきい、歓待、養子縁組、妊娠と出産、誕生、幼年期、思春期、イニシエーション、叙任式、戴冠式、婚約と結婚、葬送、季節などの諸儀式の体系的研究』A.V.ジェネップ/著 秋山さと子ほか/訳 新思索社 1999	385/J	本館
『贈与論』マルセル・モース 筑摩書房 2009	B389/M	研究室
『菊と刀』ルース・ベネディクト/著 長谷川松治/訳 社会思想社 1974	389.1/B	本館
『児童駒引考 比較民俗学的研究』石田英一郎 岩波書店 1994	B389/I	本館・文庫
『未開社会における構造と機能』ラドクリフ・ブラウン/著 青柳まちこ/訳 新泉社 1981	389/B	本館
『男性と女性 移りゆく世界における両性の研究』マーガレット・ミード/著 田中寿美子ほか/訳 東京創元社 1970	389/M/上 389/M/下	本館
『親族の基本構造』クロード・レヴィ・ストロース/著 馬淵東一ほか/訳 番町書房 1977	389/L/上 389/L/下	本館
『文明の生態史観』梅棹忠夫 中央公論社 1998	B204/U	研究室
『無文字社会の歴史 西アフリカ・モン族の事例を中心に』川田順造 岩波書店 1976	389.44/K	本館

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

- 大学共同利用機関法人・人間文化研究機構 <http://www.nihu.jp/>
→6つの機関（国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館、国立国語研究所）からなる人間文化研究の総合的拠点です。
- 国立歴史民俗博物館 <https://www.rekihaku.ac.jp/>
→日本の歴史と文化について総合的に研究・展示する博物館です。千葉県佐倉市にあります。
- 国際日本文化研究センター
→日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究する機関です。
- 国立民族学博物館 <http://www.minpaku.ac.jp/>
→文化人類学・民族学に関する調査・研究と、民族資料の収集・公開などを行う博物館です。大阪府吹田市にあります。

●日本文化人類学会 <http://www.jasca.org/>

→人類の文化を研究する文化人類学、社会人類学、民族学などの発展と普及を図ることを目的とする学会です。機関紙『文化人類学』の論文はCiNiiより公開されています。(学内限定の場合もあります)

●異文化コミュニケーション学会 <http://www.sietar-japan.org/>

→国際間および異文化間における円滑なコミュニケーションと協力関係をはぐくむために、日本における異文化の教育、訓練、研究を促進する学会です。紀要『異文化コミュニケーション』を発行しています。

●日本人類学会 <http://anthropology.jp/>

→自然人類学に関連する諸分野の研究者を中心とした学術団体です。

●人類学若手の会 <https://sites.google.com/site/jinruiwakate/>

→人類学に携わる若手人類学研究者や学生の交流促進を目的として設立された会です。機関紙『Anthropological Letters』はサイト上で公開されています。

図書館にない資料を入手するには

■直接利用

所蔵している図書館を調べ(CiNii Books など)直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。(道内39大学47館)

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満18歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。申込用紙に記入の上、申し込んでください。

*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。

国内で所蔵館がない場合でも、英国図書館にあれば、取り寄せることができます。

■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

*絶版などの理由で購入できない場合もあります。